

# 効果検証を踏まえた今後の対応

## 成果

- 県民に一定の行動変容、事業者による対策強化が確認された
- 高齢者を含め、入院者数・中等症者数の増加傾向が抑えられた
- 病床使用率は継続的に50%を下回っておらず、医療ひっ迫への懸念が解消されたとは言えない状況
- 重症化リスクの高い高齢者が、入院者の約8割・中等症者の約9割を占めている状況は継続
- その中でも、ワクチン未接種・1回接種・2回接種の高齢者が入院・中等症を占めている割合が相対的に高い
- 発熱外来のひっ迫が、全て解消されたとは言えない状況

## 課題

宣言発令により“一定の効果”が見られた一方、“課題”も残る

- 「宣言」を延長し、引き続き県民・事業者の皆様へ協力を要請  
(※新たに「高齢者等へのワクチン接種の促進」を追加)
- 抗原定性検査キット配布事業・陽性者登録センターの活用をさらに推進

# 新潟県「BA.5対策強化宣言」①

重症化リスクの高い高齢者等の命と健康を守るため、

**「高齢者等の命と健康を守る**

**BA.5対策強化宣言」**

として“**名称変更**”の上、宣言期間を**延長**し、  
引き続き、県民・事業者の皆様へ協力要請を行います

**期間：令和4年8月5日～9月30日**

※ 期間内に医療ひっ迫への懸念が解消される見込みとなった場合には、  
期間満了を待たずに宣言を解除することもあります

# 新潟県「BA.5対策強化宣言」②

## (1) 県民への協力要請（新型インフル特措法第24条第9項）

これまでも基本的な感染防止対策の徹底をお願いしてきたところですが、さらに以下の点にご協力をお願いします。

- ✓ **高齢者（65歳以上）や基礎疾患を有する者、同居する家族等は感染リスクの高い行動を控えて**

・マスクを外して会話（特に、飲食前後の場面） ・マスクをしていても継続的な発声 等

**感染リスクの高い行動をとった場合、その後3日程度、家庭内での感染防止対策の徹底を**

・家庭内でも会話の時はマスク着用 ・食事時間を分ける ・共有部の消毒 等

- ✓ **発熱外来の受診の前に、抗原定性検査キット配布事業<sup>新</sup>・陽性者登録センターの活用を** 症状が軽く、重症化リスクが低いと考えられる者

- ✓ **大人数（概ねマイクなしでは声が届かない人数）での会食の場合、感染リスクが低い方法の検討を**

・短時間で ・会話をする際はマスク着用 ・参加者同士の距離を確保できる方法で 等

- ✓ **積極的なワクチン接種を（特に高齢者と小児）**

# 新潟県「BA.5対策強化宣言」③

## (2) 事業者への協力要請（新型インフル特措法第24条第9項）

改めて、以下の点についてご協力をお願いします。

- ✓ 在宅勤務（テレワーク）等の**推進**
- ✓ 高齢者施設、学校・保育所等の感染対策の**徹底**
- ✓ 飲食店において十分な**換気**や、座席の間隔の**確保**又はパーティションの**設置**等を
- ✓ 大規模な参加型イベントは、感染防止安全計画に定めるマスク着用など感染対策の徹底を参加者に**周知**
- ✓ 職場等においては、従業員等に対して医療機関の診断書や陰性証明を**求めない**

# 県の取組の推進

## ■ 特に以下の点について取組を推進する

### 高齢者・小児へワクチン接種を呼びかけ、接種をさらに促進

- ワクチンには重症化リスクを低減させる効果あり
- 高齢者のワクチン接種をさらに進め、重症化を防ぐことで、医療ひっ迫を回避
- ワクチン未接種の小児（未就学児、小学生）から高齢者への感染を防ぐため、小児（5～11歳）へのワクチン接種を推進

### 抗原定性検査キット配布事業・陽性者登録センターの活用を促進

- 抗原定性検査キット配布事業の活用、陽性者登録センターへの登録促進により発熱外来の受診者減少が期待できる
- 「宣言」延長などの機会に、県民に対してこれらの活用をさらに周知することで、発熱外来のひっ迫を回避